

# 要点メモ：「知的財産委員会」の新設について

(作成 石田正泰教授)

## 1. はじめに

MOT (技術経営) 戦略は、突き詰めれば、「技術資産」を最大限、いかに効果的に活用できるかを追求する経営戦略であると言える。その観点からは、「知的財産」こそ MOT の本命と言える。

現在、政府、大学、産業界、研究機関など、知的財産に関する研究を多様に行っている。

しかし、それらは静態的、学究的なものが多く、真に戦略的に活用できる状態にあるかという疑問もある。特に、MOT の本命たる知的財産について、技術経営戦略の観点から、その実効性の検討、具体策の検討は不十分である。

## 2. MOT (技術経営) 戦略から見た知的財産の機能

- (1) 技術立国、技術立社における知的財産の位置づけ
- (2) 企業経営における知財の機能 (価値直評価、独占、防衛、収益)
- (3) 知的財産ポートフォリオの考え方 (一社特許だけではなく複数社におけるポートフォリオ・オープン・イノベーション、アライアンス、パテントプール)
- (4) オープン・イノベーション下における知的財産戦略
- (5) 技術経営の観点からの知的財産法制の制度設計

## 3. 企業経営戦略に知的財産をどのように活用すべきか

- (1) 技術経営戦略の位置づけ (経営戦略、事業戦略、技術戦略、知的財産戦略)
- (2) 知的財産の種類ごとの知的財産戦略 (技術知的財産と非技術知的財産)
- (3) 技術経営の観点からの経営組織、経営計画
- (4) 企業経営における知的財産人材・組織の役割
- (5) 企業経営における知的財産戦略の項目、目的、効果
- (6) 企業経営における知的財産の活用形態
- (7) 企業各組織ごとの知的財産戦略のメインポイント
- (8) 知的創造サイクルごとの知的財産戦略
- (9) 各種三位一体論と知的財産戦略
- (10) 国内知的財産戦略と国際知的財産戦略 (排他権による国際競争力)

## 4. MOT と知的財産問題についての基本的考え方

- (1) 知的財産の本質的機能は、排他権、差別化力である。経営戦略の総合政策的判断の中でオープン・イノベーションの対応も必要となる。
- (2) いずれの場合においても、知的財産ポートフォリオの考え方が必要不可欠である。企業経営の経営組織、経営計画の中に知的財産戦略を練り込んだ対応が要求される。
- (3) 知的財産をコアコンピタンスと位置づけた MOT (技術経営) なくして知的財産立国、知的財産立社はないと言っても過言ではない。
- (4) MOT 問題は、抽象論、理念論のみでは実効性は期待できない。人財・組織、戦略、行動が必要不可欠である。CTO (Chief Technology Officer) 等